

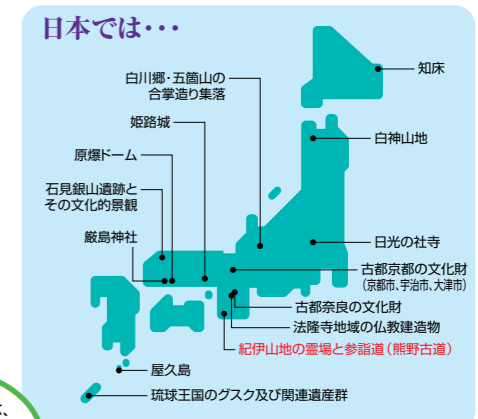
# 2004年7月、熊野古道は世界遺産に登録されました

「紀伊山地の霊場と参詣道」の一部として人類共通の宝物となった熊野古道（熊野三山への参詣道）には、和歌山から至る紀伊路、伊勢から至る伊勢路があり、遠い昔より人々が往来していました。



## ◎世界遺産

世界では... 種類別世界遺産リスト登録件数は2008年7月現在、文化遺産679、自然遺産174、複合遺産25(合計878)。



▲八鬼山



三重大学では地元の人々と共同で歴史遺産の発見に力を注いでいます。

三重大学人文学部・教授 (日本史、伊勢湾・熊野地域研究センター) Tsukamoto, Akira 塚本 明



熊野には石畳だけでなく素敵なところがいっぱい!

## 伊勢と熊野の二つの聖地



農業神と皇祖神を祀る伊勢神宮には、一生に一度は詣りたいと願う多数の民衆が全国から訪れました。一方、熊野の地は、修験道や神仏習合の要素が強く、西国三十三所巡礼(観音信仰)の出発点でもありました。この二つの聖地を結ぶのが、熊野古道伊勢路です。歴史的な旅文化や、神と仏の信仰を考える上で、注目されています。

## 熊野古道センターとの共同研究

世界遺産登録を記念して設立された三重県立熊野古道センターには、三重大学人文学部の伊勢湾・熊野地域研究センターの分室が置かれ、熊野古道の実態や、この地域特有の文化についての共同研究を行っています。熊野古道を辿った道中日記(旅日記)の全国所在調査も行い、200点以上を収集しました。



▲三重県立熊野古道センター(尾鷲市)

## 善根宿の「納札」調査

江戸時代の貧しい巡礼は、無料で泊まれる善根宿を利用し、御礼に住所氏名や願文を記した紙札を納めました。熊野市で発見された数千点の納札の調査を、塚本研究室と地元の市民団体・熊野古文書同好会が共同で行っています。



道の世界遺産は、スペインの巡礼道と熊野古道だけなんだよ

熊野の航空写真などがみられるよ

歴史街道GIS [http://culgeo.i-portal.mie-u.ac.jp/kumano\\_top.html](http://culgeo.i-portal.mie-u.ac.jp/kumano_top.html)

# 熊野古道再発見 様々な道



百夜月の川渡し舟 (東 浩志さん)



# 様々な道

～伊勢から熊野～

深い山と海にはさまれた熊野では、生活、商売、信仰、政治などの目的に応じ、土木の技術や乗り物の発達などによって様々な道が生まれ、廃れていきました。

人と自然との絶え間ない関わりのなかで生まれた道と集落が、文化的景観として評価されたのです。



- えっくす気になるポイント(地図を見て行ける)
- 地図を見て行ける
- 地元の人に聞いてから行く
- 地元の人といっしょに行く

### あ まだ使われる旧道トンネル

紀北町紀伊長島区から熊野市までの間、車が往来する国道に並行して、明治末年頃に造られたレンガ造りのトンネルが7つあります。長島隧道を始め3つのトンネルは国の登録有形文化財に指定されましたが、今も地域の生活道として利用されています。

### い 語り草の矢ノ川峠道

尾鷲と木本(熊野市)との間、険しい矢ノ川峠道を走るバスの怖ろしさは、今でも人びとの語り草です。文豪・吉川英治は峠の茶屋の女性を詠った句を残しました。昭和43(1968)年、現在の国道42号線完成後は忘れられた道となりました。

### う 週に一度バスが通う湯の谷

熊野市の山奥、五郷町湯の谷は、平家の落ち武者伝説と後南朝伝説が残り、木地師\*が近くに住んでいたとされる山村です。

現在週に一度水曜日だけバスが運行しています。

\*木地師: 漂泊しながら、木の器を作っていた人たち

### えっくす歴史街道シリーズ

「三重大X」ではA～Gについて詳しくご紹介しています vol.10～vol.16の各巻末をご覧ください

- A 田丸
- B 柳原手引観音(千福寺)
- C 荷坂峠
- D 馬越峠
- E 須賀利
- F 曾根遺跡
- G 花の窟

### え 落書きされた道標

多数の旅人による「落書き」が残されています。訪れた記念なのか、誰かへのメッセージでもあったのでしょうか。

本宮道の地藏道標

### お 海の熊野古道

浦村の人々は、沿岸の船に乗って往き来しました。遠国から訪れる巡礼たちも、険しい峠道を避けて船に乗ることが少なくありませんでした。尾鷲港と尾鷲市須賀利町を結ぶ巡航船は、現在唯一残る「海の熊野古道」です。

須賀利巡航船

### か 百夜月 — 舟で渡る集落 —

前近代には、橋の架かっていない川が多くありました。熊野川沿いの百夜月は、バス停下の岸辺から渡し舟に乗らないと行けない「集落」です。現在は、家は1軒のみ。日本で一番の過疎地とも言われます。

#### 百夜月の伝説

この地で参籠していた美しい尼さんを目当てに、若者が夜、密かに川を渡って通おうとしました。ところが、月が明るく照らしていたのでこっそり渡れません。次の日も次の日も、ついに百日目の夜も月が輝き、尼さんを守りました。百夜月の地名の由来です。

百夜月の紅梅寺跡の宝篋印塔

### き 復活した渡し舟

道中記の講座がきっかけで、地元団体の尽力により、銚子川(紀北町海山区)の渡し舟が復活しました。熊野川の船大工・谷上嘉一さんが百年木の杉の赤身を用いて造った船です。

●渡し舟を体験したい方は

お問い合わせ先 NPO法人 ふるさと企画舎

〒519-3408 三重県北牟婁郡紀北町海山区便ノ山271  
TEL.0597-33-0077 FAX.0597-32-3800  
ホームページ <http://www.furusatokikakusha.com/>

### 熊野川の川舟

●川舟についてもっと知りたい方や川下りを体験したい方は

お問い合わせ先 熊野川体感塾 (塾長・谷上嘉一氏)

〒519-5716 三重県南牟婁郡紀宝町北檜杖203  
TEL.0735-21-0314 FAX.0735-21-0313

紀宝町役場企画調整課

〒519-5701 三重県南牟婁郡紀宝町鶴殿324番地  
TEL.0735-33-0334 FAX.0735-32-0727  
ホームページ <http://www.town.kiho.mie.jp/>

